

シェークスピアと欽定訳聖書に与えられた隠れた目的

(1)

Peter Dawkins 1997 FBRT によると、シェークスピアはフリーメイソンだった。

「もっとも重要なことだが、シェークスピアの戯曲と詩には、高位のメイソンしか知りえないメイソンの習慣や用語や教えに関する知識の証拠に満ちている。実際、シェークスピアの戯曲と詩の全体が、フリーメイソンのイニシエーションの思想と階級のいずれをも具現化している。これらは、メイソンの寓話と類似し、それを暗示する様々な寓話において表現されている」。

「1929年、ストラトフォード・アポン・エイヴオンのシェークスピア記念劇場において礎石が置かれた。儀式は完全にフリーメイソンの様式であり、イギリスの合同グランドロッジのプロ・グランドマスターであったロード・アンプシルが、4000年前にサハラで使用された古代エジプトの大槌を用いて執り行った。600人のメイソンたちが完全正装で出席した。なぜグランドロッジは、シェークスピアの記念と、戯曲の上演を重視しなければならないのだろうか」。

<http://www.sirbacon.org/Dawkinsfrmsnry.htm>

(2)

次のビデオ（英語）をご覧ください。非常に重要なことが語られている。

<http://www.youtube.com/watch?v=I2XqNv33DNE>

独立戦争時の5つの都市、ワシントン、ボルチモア、フィラデルフィア、ニューヨーク、ボストンは一直線に並んでおり、その先をずっとたどると、イギリスのストーンヘンジに行き着く（0:18:42から）。

これらを結んでいるのはパワーの帯（アルフレッド・ワトキンスが「レイライン」(Ley line)と命名)であり、その上には古代の様々な遺跡がある。

ワシントンDCは、第77子午線に沿って造られている。オカルト主義者にとってこのラインは、「神の経度」と呼ばれ、神聖であり、そこに旗を立てることは特別な意味があった（0:25:12から）。

ワシントン DC を作る際に測量のために派遣された人物は、ベーコンの結社のメンバーだった。

これらの 5 つの都市の配列、ワシントン DC が第 77 子午線上に作られたのは、初期アメリカの人々が古代の神秘学的な知識にしたがって国づくりをしようとしていたことの証拠である。

(3)

アメリカ建国の隠れた意味は、フランシス・ベーコンに関する知識がないとわからない。

16 世紀にフランシス・ベーコンは、薔薇十字団のトップの座についた。

そして、新大陸にニュー・ワールド・オーダー（ニュー・アトランティス）を作れとの命令を部下に発した（0:29:20）。

ニューファンドランドが発行した切手に「フランシス・ベーコン——植民地計画における最高指導者」と記されている（0:29:43）。

現在でも、薔薇十字団においてフランシス・ベーコンは、秘密を伝える半神的存在としてあがめられている（0:29:53）。彼の影響は今日のフリーメイソンにおいても絶大である。

(4)

以上、フランシス・ベーコンが果たした大きな影響を考えると、そして、シェークスピアがフリーメイソンであったということを考えるときに、次の説が俄然、説得力を増してくる。

「シェークスピアが戯曲を書いたのではなく、真作者は、フランシス・ベーコンと、ベーコンが雇った人々であった。ベーコンがこれらの戯曲を書いた目的は、英語の諸方言を統一するためであり、その究極的な目的は、フリーメイソンのニュー・ワールド・オーダーを、米国を通じて開始するためであった」。

<http://www.youtube.com/watch?v=ZKaK6G3do6U>

シェークスピアと欽定訳聖書には、実は、バベルの塔建設のために「言葉を統一する」目的を与えられていたのかもしれない。